

# やないづ 議会だより

Yanaizu  
No.173  
2023.02.24



—2月3日 柳津保育所豆まき—

## 今年一年の「福」を願って?



—1月15日 西山保育所だんごさし—

### Topics

#### 12月定例会 12月7日～9日

12月定例会 議案審議	2
常任委員会行政調査	4
代表質問・一般質問 4人の議員が町政を問う!	6
議会・議員活動報告	10
ちょっと一言 など	12

## こんなことを決めました 一審議一覧一

## 【12月定例会議案】

議案番号	件名	審議の結果
第74号	専決処分の承認を求めることについて（専決第14号 令和4年度柳津町一般会計補正予算）	原案承認
第75号	専決処分の承認を求めることについて（専決第15号 令和4年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算）	原案承認
第76号	柳津町結婚祝金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第77号	指定金融機関の変更について	原案可決
第78号	令和4年度柳津町一般会計補正予算	原案可決
第79号	令和4年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第80号	令和4年度柳津町介護保険特別会計補正予算	原案可決
第81号	令和4年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第82号	令和4年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算	原案可決
第83号	令和4年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
第84号	令和4年度柳津町下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第85号	令和4年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算	原案可決
第86号	令和4年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議員提出議案第5号	新設されるデジタル交付金及びマイナンバーカードのより良い活用に向けた見直しを求める意見書の提出について	原案可決

## 【追加議案】

議案番号	件名	審議の結果
第87号	柳津町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第88号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第89号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第90号	令和4年度柳津町一般会計補正予算	原案可決
第91号	令和4年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第92号	令和4年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第93号	令和4年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
第94号	工事請負契約の変更について	原案可決

### 議会開催の冒頭、町長あいさつの中で、 柳津町のゼロカーボンシティ宣言が行われました

国は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しており、地球温暖化対策の推進に関する法律では、地方公共団体は、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の削減等のため総合的かつ計画的な施策を策定、実施するように努めるものとする、とされています。こうしたことから、昨今、脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明する地方公共団体が増えております。当町は面積の86%が森林と、手付かずの自然が多く残る地域であり、地熱や水力の再生可能エネルギーによる発電所を有する町であります。こうした豊かな自然環境を未来につなげるため、次のとおり宣言します。

「柳津町は地球温暖化の要因となっている、温室効果ガスの吸収源となる森林環境の整備の継続、更なる再生可能エネルギーの導入、省エネルギー対策やリデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3Rの推進に取り組みながら、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」の実現を目指すことをここに宣言いたします。」

## 12月定例会審議議案 ー主な議案ー

令和4年第4回12月定例会が、12月7日から9日までの3日間の会期で行われました。今回の定例会では、専決予算の承認や条例の一部改正、令和4年度補正予算など、22議案が審議され、原案どおり可決しました。

### ○令和4年度柳津町一般会計補正予算（専決）

急激な物価等の高騰を受け、国が閣議決定した臨時給付金事業に対応するため、緊急性の高いものとして10月に専決した補正予算を承認。

《主な内容》 ・電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業補助金 29,289千円

### ○令和4年度柳津町一般会計補正予算

公共施設の電気料金の増額、コロナ禍・物価高騰対策費、災害復旧費等の増額により新たに25,607千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4,382,000千円とする補正予算を可決。

《主な内容》 ・公共施設光熱費・燃料費の増額 13,030千円  
 ・物価高騰対応子育て世帯緊急支援給付金 21,000千円  
 ・災害復旧工事の費用増額 13,240千円

### ○柳津町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 } について

国の人事院勧告により議員、職員等（特別職を含む）の給与、賞与等を増額するための条例を一部改正。給与に関しては若手職員に対して増額となった。

### ○令和4年度柳津町一般会計補正予算（追加）

国の人事院勧告による職員等（特別職を含む）の給与、賞与等の増額に対応する補正予算。1,288千円

### ○柳津町結婚祝金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

祝金の額（5万円から10万円への増額）や夫婦の居住要件について、現行規則で定めているため、本条例から削除し条文を整理するための改正。

### ○指定金融機関の変更について

地方自治法施行令第168条第2項の規定により、公金の収納及び支払いの事務を取り扱わせるための指定金融機関を変更するもの。

指定金融機関の名称 会津よつば農業協同組合  
 変更日 令和5年4月1日  
 契約期間 2年間

### ○議員提出議案「新設されるデジタル交付金及びマイナンバーカードのより良い活用に向けた見直しを求める意見書」

国で進めている「デジタル交付金」について、高齢化、少子化が進んでいる地方の町村には不相应な内容であり、また、「マイナ保険証」への切り替えについては、より慎重に整理された政策とするよう求める意見書を国に提出。

### ●12月定例会補正予算

		12月補正後	補正額	
一般会計 (専決・追加補正含む)		43億82,000,000円	5,489万6,000円	
特別会計	土地取得	880,000円	0円	
	国保	事業勘定	4億8,353万7,000円	2万6,000円
		施設勘定	6,525万8,000円	54万7,000円
	後期高齢	5,499万8,000円	0円	
	介護保険	5億9,969万9,000円	486万5,000円	
	簡易水道	2億4,352万2,000円	387万1,000円	
	町営スキー場	4,330,000円	330,000円	
	農業集落排水	1億17万8,000円	110万7,000円	
	下水道	8,831万7,000円	111万1,000円	
	簡易排水	577万3,000円	64万2,000円	
林業集落排水	519万9,000円	5万4,000円		
合計		60億3,369万1,000円	6,744万9,000円	

## 総務文教常任委員会

実施日：令和4年11月16日～17日

研修先：○福島県郡山市 西田学園（義務教育学校）

○茨城県北茨城市 天心記念五浦美術館 ○福島県大熊町 福島第一原子力発電所

## 11月16日 西田学園（義務教育学校）

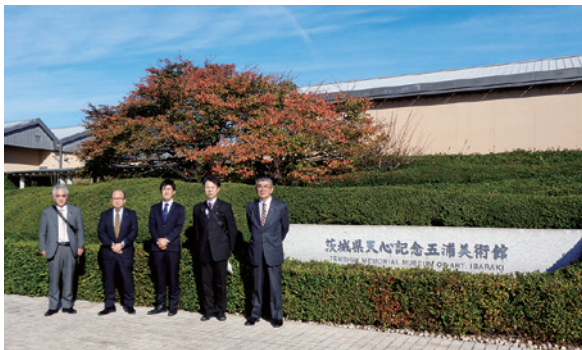
※義務教育学校…初等教育（小学校などにおける教育）と前期中等教育（中学校などにおける教育）までの義務教育を一貫して行う学校

西田学園は福島県内初の「義務教育学校」として開校し、小中一貫校としての教育を進めております。9年間の学びを、小1から小4、小5から中1、中2から中3の4-3-2の教育課程を設定していました。



小5からは教科担任制を取り入れており専門教科の学力向上が期待されます。また、「地域連携型学校」として農業体験や地域行事への参加など、地域との関わりを持ち、人間性を育む教育にも取り組んでいます。9年間の連続性による学びや地域との連携を活かす教育に当町での今後の学校教育に大変参考になりました。

## 11月17日 茨城県天心記念五浦美術館・福島第1原子力発電所



岡倉天心や横山大観をはじめとする五浦ゆかりの作家の作品が展示されていました。また、岡倉天心記念室が常設されており、その他に展示室が3つあり、うち2つは一般の作品発表の場として利用もできるとのことです。館内は映像ギャラリーや講堂など、座りながら映像を視聴できるスペースや、展望ロビー、カフェ、ショップなど充実した造りとなっており、美術館の外周も手入れが行きとどいていました。当町の斎藤清美術館において参考になる点が多いと思いました。

廃炉資料館にてシアターによりこれまでの経緯と現状の説明を受け、専用バスで福島第一原発敷地内まで移動しました。移動中には放射線量表示や震災当時からそのままの家屋や店舗などが見られ、原発事故から11年経過した今でも、町民が戻ってくるには、まだまだ時間がかかると思われました。敷地内では車中から多核種除去設備（ALPS）や免震重要棟などを見ることができ、原子炉建屋1号機から4号機はバスから降車して見学しました。当時の地震や津波の大きさを痛感させられました。廃炉作業完了までには、これから30年以上かかるとの説明もあり、安全・安心な暮らしのためにも早期完了に向けてご尽力いただきたいと思います。



代表質問をいたしました。（P6～P7に掲載）

## 産業厚生常任委員会

実施日：令和4年11月8日～9日

研修先：○福島県須賀川市

翠ヶ丘公園「Park - PFI事業」

○茨城県ひたちなか市

株式会社モンベル ひたちなか店

○茨城県八千代市

株式会社エフピコ 関東リサイクル工場

### 11月8日 須賀川市翠ヶ丘公園・茨城県 (株)エフピコ関東リサイクル工場



「Park - PFI事業」とは、都市公園の活用を公募により民間企業が整備及び管理をする制度のことです。敷地内の管理から運用までを一に行えるところで指定管理者制度とは異なり、カフェなどのレジャー施設を建設・運用して収益を上げることになります。調査

時点では、地元の大手建設会社がカフェの経営を始めており、新たに温泉施設を建設していました。市の財政負担の軽減、市街地の活性化など、今後の成果に期待が寄せられていました。

(株)エフピコは昭和50年代からトレーの再生事業を始めた大手企業であり、大規模工場でのリサイクルの工程や障がい者の雇用状況など、大変興味を持てる視察でありました。グループの社員数4,792名の内、障がい者雇用が621名と地域雇用にも力を入れており、感心しました。



### 11月9日 茨城県ひたちなか市 (株)モンベルひたちなか店

柳津町は株式会社モンベルと令和4年3月に包括連携協定を締結しております。

「モンベルひたちなか店」は、国立ひたち海浜公園に隣接する大規模商業施設の一角にあり、集客能力が非常に高いことを活かし、カヤックやロッククライミング教室、レンタルサイクル等の事業を行い、会員数も伸ばしているとのことでした。



経営の収益の主なものとしては、モンベル独自で製作したアウトドア関連商品の販売であり、新製品の開発にも力を入れていました。体験型アクティビティを活かした事業は大変参考になりました。

今回の視察研修を元に各委員会へ



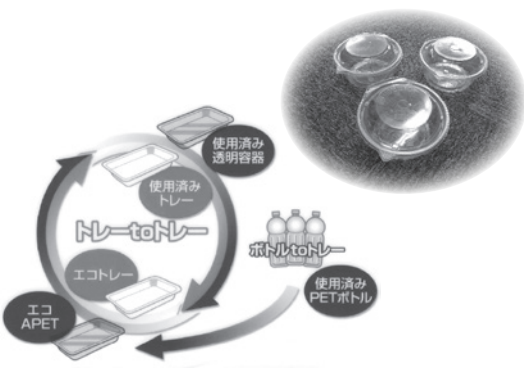
産業厚生常任委員会 委員長 伊藤 純 議員

○再資源化対策事業について  
 ○再生可能エネルギーの推進について  
 ○SDGsの推進について

**Q** ①リサイクルによる循環型社会を目指し、資源ごみの再資源化の今後の取り組みをどのように町民に周知し推進していくのか伺う。  
 ②再生可能エネルギーの導入による再生可能エネルギービジョンを策定し、「脱炭素」政策実現に向け、どのように取り組み推進していくのか伺う。  
 ③社会課題の解決を目指すSDGs「持続可能な開発目標」を、今後どのように町民に周知し推進していくのか伺う。

**A** (町長) ①健全な循環型社会を築くため、町民への意識啓発・体制整備を強く推進し、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを主体とした取り組みを進め、行政・町民・事業者が支援・実行・連携を図り、それぞれの役割や責任を自覚し取り組みが必要がある。  
 町民1人当たりのごみ排出量等や町の目標数値を示し、問題や課題について理解してもらい、リサイクルなどの重要性を広報等で周知し、町民一人一人が実践できることから取り組めるように進めたい。さらに、各地区や各種事業、事業所等で説明会などを実施し、リサイクルにより循環型社会への理解促進、分別の精進向上を図っていききたい。  
 ②再生可能エネルギーの導入は、地球温暖化の要因となっている温室効果ガスの削減に取組んでいく上で必要となる政策である。本日、ゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年二酸化炭素実質排出ゼロに向けてスタートした。町で排出される温室効果ガスの量や、森林の吸収量がどの程度なのか現状を把握することから取り組み、どのような手法で取り組むべきかを、地球温暖化防止実行計画により策定する。策定に当たっては、県の協力も得ながら進めていきたい。  
 今年度は、公共施設における太陽光発電導入の可能性調査を行っており、その調査結果を導入計画の基礎資料とし、災害時用の蓄電と自家消費を兼ね備えた有効活用を進めたい。  
 また、温泉バイナリーや小水力等も調査研究を進めながら再生可能エネルギービジョン策定に取り組んでいく。  
 ③SDGsの意義や町民が取り組める具体的な行動等を、広報掲載等により周知してきていたが、まだ十分に理解されていない。引き続き広報等にて

周知をしていく。  
 地球温暖化に対するゴールは「気候変動に具体的な対策を」として、SDGsの13番目に位置づけられているが、町振興計画の「廃棄物適正処理の推進と環境保全」、「再生可能エネルギーの推進」及び「農林業の推進」に関わるため、「第6次柳津町振興計画」及び「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」とSDGsとの関連性を明確にし、17のゴールと連動させることにより課題解決に向けて事業推進の加速化を図りたい。



**Q** 町民1人当たりのごみの排出量は、3年間で、どのように変化しているのか伺う。

**A** (町民課長) 町民1人当たり1日のごみの排出量は可燃と不燃ごみを合わせ、令和元年度839g、令和2年度859g、令和3年度881gとなっており、総排出量は人口減少とともに減少している状況だが、1人当たりの排出量は増加傾向となっている。

**Q** 町は「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったところであるが現状を把握できていない状況で、地球温暖化防止実施計画策定に向け、町民への周知等を今後どのように進めていくのか伺う。

**A** (みらい創生課長) 地球温暖化防止計画は、実効性のあるものでなければならぬと思っている。そのため策定する段階から関係する企業や、町民に参画していただき、目的を同じくしていくことが一番理想的と考える。町民に対する周知については、広報紙やホームページ、またSNS等、それぞれの年代に応じた活用方法を模索していきたい。



総務文教常任委員会 副委員長 松村 亮議員

## ○学校教育における 現在地と将来像について

**Q** 視察先の郡山市立西田学園は、義務教育や地域連携型学校のメリットを生かした特徴のある教育を展開しているが、第6次柳津町振興計画においても、主要課題に「教育の充実」とあり、教育における施策の基本事業5項目の中に「小中連携教育の推進」が明記されている。

当町も令和4年4月より学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしての取り組みを始めた。本制度を導入してから現在に至るまでの概況、所感について伺う。

**A** (教育長) 学校運営協議会は、平成29年4月1日に改正・施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律に設置が努力義務として規定されたものである。

学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールは、学校と地域住民等とが力を合わせて、学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みである。これまでに3回開催し、各学校の運営状況等の説明や、柳津町の子どもたちにとってほしいかについての意見交換、西山地区の公共施設の見学などをを行い、できることから取

り組む計画案づくりを実施した。まだまだ手探りの部分もあるが、地域の声を生かし、特色ある学校づくりを進めていくための一歩を踏み出すことができたのではないかと考えている。

**Q** 西田学園は職員室が1つのため、教職員のコミュニティケーションを活かし、9年間、発達に応じた柔軟で系統性のある学習指導が最大の強みだとの説明を受けた。

当町には2つの小学校、1つの中学校があり、教職員の数だけ、考えの幅もあると推測するが、柔軟で系統性のある学習指導はできているのか。また、それが可視化され、共有されているのか伺う。

**A** (教育長) 町の教育研究会を中心に柳津町小中連携全体構想を作成し、見直しを行いながら教育活動を進めている。具体的には「赤べこプラン」という呼称で、子ども向けの「学習の約束」、「体力づくりの約束」を、教職員向けの「授業づくりの約束」を可視化して、具体的な共通実践が行われるようにしている。また、町PTA連絡協議会を中心に、メディアコメントロールを推進し、SNS

上でのトラブル回避のため情報モラル教育を学校・家庭が連携して行えるようにしている。

**Q** 西田学園の校長は、地域コーディネーターの存在について言及していた。

その存在は今後、さらに重要視されると考えるが、当町の地域コーディネーターの概要及びその職務範囲、役割について伺う。併せて学校教育アドバイザーについても伺う。

**A** (教育長) 地域コーディネーターは、学校を支援する人たちをお願いする際などに、学校と地域住民や企業、関係機関などの連絡調整を行ってもらう地域の人材である。本庁地区に2人、支所地区に1人の計3人委嘱している。家庭・地域等の協力で学校教育の充実、生涯学習社会の実現や地域の教育力の向上を目指す上で重要な役割を担っている。

学校教育アドバイザーは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で配置が努力義務として規定されている指導主事の役割を、非常勤の方で担っている。学校経営や学力向上、生徒指導など様々な問題に対して指導・助言を行う

等、学校に積極的に出かけて活動している。

**Q** 公立中学校の部活動において、指導者の地域移行が2023年から2025年度で完了するよう、スポーツ庁の有識者会議で提言されている。部活動の編成や部活動にないものややりたい学生の受皿、体制づくりと近隣市町村の動向も交え、町の考え、方向性を伺う。

**A** (教育長) 運動部、文化部の土日の活動を、学校を含めた地域で行い、子どもたちを育てるといふ、スポーツ庁、文化庁から示された方針に沿って進めたいと考えている。部活動の地域移行についての実施方針や内容、生徒保護者への説明など、今後具体化していく必要があると考えている。県や両沼地区の町村教育長協議会でも意見交換を行っているが、様々な課題が顕在化しているような状況である。

※学校の営む教育活動自体の適正・活発な進行を促進するため、校長及び教員に助言と指導を与えることを職務として教育委員会事務局に置かれる職



1 番 磯目泰彦議員

## ○観光の振興について

**Q**

観光は、人口減少の中、「交流人口、関係人口」を増加させ地域経済を活性化させる産業として今後、期待がますます高くなると予想される。本町には「柳津・西山温泉」「福満虚空蔵菩薩圓藏寺」「斎藤清美術館」などの地域資源が豊富にあり、「赤べこ伝説発祥の地」という特長を生かし、認知度や注目度は確実に向上している。しかし、コロナ禍の現在、長時間滞在が難しいため、既存施設をリフレッシュし有効活用との再検討が重要なファクターである。そこで、次の点について伺う。

①道の駅周辺の観光施設の現状と今後について。

②コロナ禍における観光推進策の経過と効果について。

**A**

(町長) ①観光物産館、清柳苑、斎藤清美術館、トイレ施設が順次整備され、道の駅会津柳津として認定を受け、その後、観光休憩施設ほっとinnやないづが整備された。老朽化に伴う修繕など、維持経費も増えてきている。斎藤清美術館では、令和2年度に消火設備設置工事を、今年度は芝生広場にポケモン公園を整備した。3施設の利用者数は、令和元年と本年を比較すると、95%まで回復して

いる。10月以降も只見線の全線運転再開や全国旅行支援の実施などにより増加傾向にある。今後、県の施工により清柳苑の一部を改修し越後三山只見国定公園のビクターセン

ターの設置が予定されている。また、清柳苑とほっとinnやないづは、役割が重複していることから、店舗内の構成について整理し、計画的な改修・修繕に取り組みたい。

②新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金を活用し、事業者向けの応援金給付等の直接的な支援や宿泊者商品券贈呈事業などの消費喚起や観光客誘致を促す事業さらに宿泊施設等に対して感染力予防対策用品の購入補助支援事業など、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

**Q**

足湯について、現在、ポケモン公園の後ろに白壁があるが、これを取ることはできないか。また、足湯を平らにしてプールのなものにするなど、施設改修についての考えを伺う。

**A**

(町長) 白壁については、以前から一体感、一体性がないと感じていた。ポケモン公園もでき、遊ぶ子どもたちを親が安心して見守

れるような場所も欲しいと考えている。そういった場所への活用ができれば良いと思う。

**Q**

県で物産館の一部をビクターセンターへ改修する予定があるようだが、具体的な改修内容を伺う。

**A**

(地域振興課長) 令和5年度に改修工事、6年度にオープンする予定である。工事の詳細な内容は固まっていないが、主な改修として予定しているのは、2階展望台へ行く階段の移設と、避難経路として美術館側の出入口の整備である。

**Q**

町長には「プライオリティー」(優先順位)、「ポリシー」(信念)、「パッション」(情熱)、この3つのPを持って町政に当たっていただきたい。そのうえで今後の観光の振興に向けた整備について考えを伺う。

**A**

(町長) 今後のまちづくりとして「歴まち計画」も進めている。只見線も再開通し、駅を起点とし、町なかを歩きながら観光してもらう考えもある。また道の駅近辺の観光客にも歩いて町な

かを散策してもらう目標も持っている。交流人口、関係人口を増やしていくことも必要なことであり観光については、これからも力を入れていきたい。

**Q**

町の補助金交付の基準では、公益性、効果性が求められ、透明性の観点からも検証は必要だとうたっている。費用対効果の面ばかりではなく、これからの施策にも生かしていけるのではないかとと思うがいかがか。

**A**

(地域振興課長) 道の駅周辺に絞ると、「ミライツナガル会議」のファシリテート業務を委託している青森大学の石井准教授の協力を得て、国の若手官僚と共に、美術館のイベント、道の駅のイベントなど、現在、国が推奨している「EBPM・根拠に基づく政策立案」として、町施設の入込者、宿泊者、売上げなどの数値から検証を行った。美術館でイベントを開催すると、道の駅全体の売上げも上がってくるとの結果が出た。だが、それだけでは道の駅だけの結果となり、町全体として把握するためには、民間の協力が必要と考える。





5番 岩淵清幸議員

## ○移住・定住の促進について

**Q** 人口減少に歯止めがかからない状況の中、移住・定住政策を促進することが、町を活性化し、賑いのあるまちづくりの第一歩であると思うが、本年まで成果を上げることができなかったことについて、どう評価しているか。また、来年度以降、どんな施策を取り入れようとしているか伺う。

**A** (町長) 移住・定住の促進については、急速に進む人口減少を鈍化させる重要な施策である。

本年度の事業効果は、定住促進対策新築住宅補助事業や空き家バンク登録事業の実施により、一定の効果は得ていると考える。

評価については、移住施策は、既存の分譲住宅は完売で、移住希望者の受皿となる住宅が確保できない状況であり、課題解決に早急に取り組むべきと考える。

定住施策については、大学進学や就職による都市部への転出以外に、近隣町村への転出者も目立ち、より利便性の高い居住地を求める意見も多く、まず、受皿となる居住地の確保が喫緊の課題である。

新たな分譲宅地整備に向けた調査、空き家の利活用や除却後の宅地の有効活用、民間との協働による宅地建物対策も視野に入れていきたい。

町に居住する方々の生活をより豊かにし、他町村と比較において、日常生活の不便を補っても、柳津町に住み続けられるような施策が重要である。また、一旦、町を離れた方が故郷のよさを再認識できるように、郷土愛を育むことも重要である。

**Q** 第6次柳津町振興計画 マネジメントシートの令和3年度移住・定住の施策の実績評価を見ると、低い評価となっている。

このことを踏まえ、今年度はどんな施策を実施してきたのか。また、今後、どのような施策を考えているのか伺う。

**A** (みらい創生課長) 今年度の取り組みとしては、住みやすい住環境を整備するための、空き家家屋の除却支援事業補助金や、空き家改修支援事業補助金の積極的な活用を図っている。

また、移住希望者の受皿となる空き家バンクの充実にも

力を入れていく。定住を促進するために、新築住宅の補助制度の活用を呼びかけていく。

町民ニーズに合った施策としては、町が提供できる家屋や土地を早急に確保するように進めているところである。



**Q** 分譲宅地造成について、新たな分譲地、分譲宅地整備に向けた調査など、現在、どの程度進捗しているのか伺う。

**A** (みらい創生課長) これまで、宅地として町で分譲できる可能性のある候補地について、2ヶ所ほど選定し、調査を進めているところである。しかし、現時点で、どちらも分譲地として進めるということが決定していない状況である。

町有地を含め検討を重ね、分譲宅地として提供できる土

地の造成について進めていきたい。

**Q** 小巻地区に、ご遺志により寄贈された町有地がある。社会福祉等の公共施設用地としての利用が希望であるとのことだが、この土地を有効利用する考えがあるのか伺う。

**A** (みらい創生課長) 今ある物件を活用しての体験住宅等、また、よい住宅として提供できる物件を造るということだと考える。それを優先して取り組んでいくべきだと認識している。

町有の土地、建物等の活用も、大いに視野に入れて取り組んでいきたい。



# 議会の動き

## 令和4年第4回柳津町議会定例会・諸般の報告（令和4年第3回定例会以降）

日付	内 容
9月20日 ～22日	奥会津五町村議会議長連絡協議会行政視察に議長出席（岩手県・三陸方面）
9月26日	第85回霊まつり稚児行列・流灯花火大会合同反省会に議長出席（役場）
9月29日	会津やないづ温泉開発（株）取締役会に議長出席（町民センター）
9月30日	第33回両沼地方町村議会議員大会決議事項現地調査に議長出席
10月1日	JR只見線全線運転再開記念式典に議長出席（只見町）
10月5日	第9回市町村対抗福島県ソフトボール大会 柳津町チーム結団式・壮行会に議長出席（ふれあい館）
10月6日	町自治功労者表彰審査委員会に議長、副議長、総務文教常任委員長出席（役場）
10月14日	内堀雅雄知事街頭演説に議長出席（会津アピオ）
10月17日	第33回両沼地方議会議員大会県要望に議長出席（会津若松合同庁舎～福島県庁）
10月20日	議会全員協議会
10月22日	西山小学校創立150周年記念式典・きらきらフェスタに副議長・総務文教常任委員長出席（西山小学校）
10月24日	町村議会議員研修会に議員出席（郡山市）
10月26日 ～28日	議会行政視察研修に議員出席（四国方面）
11月3日	町自治功労者表彰式に議長、副議長、総務文教常任委員長出席（役場）
11月6日	渡部恒三先生お別れの会に議長出席（会津若松市）
11月8日 ～9月	第33回両沼地方町村議会議員大会決議事項中央要望及び会津選出国會議員との政務懇談会、第66回町村議会議長全国大会等に議長出席（東京都）
11月8日 ～9日	産業厚生常任委員会行政調査研修を実施（茨城県方面）
11月11日	町戦没者追悼式・慰霊祭に議長出席（圓藏寺会館）
11月14日	第34回市町村対抗福島県縦断駅伝選手壮行会に議長出席（ふれあい館）
11月16日 ～17日	総務文教常任委員会行政調査研修を実施（福島県・茨城県方面）
11月21日	議会全員協議会
11月30日	議会運営委員会

## 「令和4年 赤べこ議会」を開催

令和4年第4回定例会は「赤べこ議会」として開催しました。「赤べこ発祥の地」をPRし、また、コロナ禍の早期終息を願って、出席者全員が赤べこ法被を着用して議会に臨みました。



## 柳津町・出雲崎町議会 議員交流会

2月6日、柳津町と姉妹都市となっている新潟県出雲崎町議会の皆さんが来町され、視察研修及び交流会を行いました。柳津町の「これからの町づくり」について、歴まち計画や会津柳津駅の活用など、担当者からの説明に真剣に耳を傾けていました。

コロナ禍により5年ぶりの開催となりましたが、とても有意義な時間となりました。



## 公営企業会計説明会

1月20日（金）役場大会議室において、公営企業会計説明会が開催されました。令和6年度より水道、下水道の特別会計は、現在の会計事務から公営企業会計に移行します。講師の大嶋雄生先生（一社）行政経営支援機構公認会計士、税理士）より、制度や移行事務等について分かりやすく説明していただきました。



※地方公営企業会計とは・・・官庁会計（現在の会計事務）は、収入と支出の現金が動いた時点で記録する現金主義であるのに対し、公営企業会計は、収入や支出を含む全ての財産の増減の変化を、その発生時点で記録する発生主義を採用した会計方式

## 議会モニターを募集します!

町議会では、議会の運営等に関し町民の皆様からのご意見を伺い、今後の議会運営に反映させるため、「議会モニター制度」を実施しております。モニター公募を行いますので、ぜひご応募ください。

- 〈資格〉 ①満18歳以上の町民の方（町役場職員を除く）  
②町議会の仕組みや運営に関心のある方  
③町政及び地域社会の発展に関心がある方

〈任期〉 令和5年4月1日～令和6年3月31日

〈応募期間〉 令和5年3月1日（水）から3月17日（金）まで（郵送の場合、当日消印有効）

〈申込方法〉 申込用紙に必要事項を記入し、議会事務局まで持参、郵送、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みください。なお、申込用紙は議会事務局まで来ていただくか、町のホームページよりダウンロードしてください。

〈問い合わせ〉 町議会事務局 電話0241-42-2390

※町のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

## 議会録画映像のお知らせ

定例会での一般質問の映像を、町のホームページから視聴することができます。



スマホやタブレット端末からも、  
見ることができます!

## 次回定例会のお知らせ

令和5年第1回定例会は  
3月8日(水)～3月17日(金)で  
開催予定です

《3月8日 午前10時開会》

初日は、議員による町政への疑問などを問う「一般質問」を行います。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、傍聴席は通常の3分の1となります。
- ・アルコール消毒、マスク着用をお願いします。
- ・ゆきげ館、ふれあい館でテレビ傍聴ができます。



### ちょっと一言

今年秋にラグビーのワールドカップがフランスで開催されます。日本代表の活躍が期待されるのですが、ラグビーの試合では終了のホイッスルが鳴ると、「アーサイド」となり、敵味方なく健闘を讃え合うと言われています。これぞスポーツマンシップの鑑です。

一方、アメリカ合衆国やブラジルなどで、大統領選に敗北した候補者を支持する人々によるデモが暴徒化したという報道がありました。これは民主主義の根幹を揺るがすばかりでなく、社会の分断をある卑劣な行為であり、ノーサイドの精神とは真逆と云っていいものです。

さて今年には統一地方選挙の年でもあり近隣市町村でも首長選挙や議会議員の選挙が予定されています。柳津町においても6月に町長選挙が実施されることになっております。私たちにできることは候補者の声をよく聞いて一票を投じることです。近年町の投票率も低下傾向にあります。期日前投票や移動期日前投票所制度もありますので棄権しないで投票しましょう。そして結果については真摯に受け止めノーサイドの精神で、「任んでよかった」と思える町づくりのために力を合わせて行きましょう。(岩淵清幸)

### 広報常任委員会

委員長 新井田 順一  
副委員長 松村 亮一  
委員 荒明 一  
岩崎 清二  
田嶋 幸一